

日本一の物流拠点・名古屋港 災害対策強化でさらなる利用促進を

総取扱貨物量一四年連続日本一の名古屋港。日本初お目見えのレゴランド・ジャパンが二〇一七年夏開業に向け金城ふ頭で建設が進むなど、名古屋港一帯のにぎわいづくりにも積極的に取り組んでいる。また、同港を管理する名古屋港管理組合は昨年末、一五年ぶりに港湾計画を改訂し新たな将来ビジョンを打ち出した。「国際産業戦略港湾」を目指す同管理組合の近藤隆之専任副管理者に進化する名古屋港について聞いた。

——日本初進出のテーマパーク「レゴランド・ジャパン」の建設が進み、隣接の商業施設「メイカーズ・ピア」も先日、着工しましたが。

近藤 レゴランドは世界に六カ所あり、日本では金城ふ頭が初めてとなります。昨年一月、準備工事に着手し、二〇一七年第2四半

期の開業に向け順調に進んでいると聞いています。併設の飲食や物販など約五〇店が入居する「メイカーズ・ピア」も今年二月二日に着工しており、同時期の開業予定です。

名古屋港のにぎわいづくりが順調に進み、うれしく思っております。

多くの来訪者を期待しています。一方、金城ふ頭は完成自動車等を扱う物流拠点でもあり、にぎわいどう調和をとるかも課題で、名古屋市とともに駐車場整備や一般車両と物流との分離などの準備も進めています。

港を管理する立場からいえばレゴランドやリニア鉄道館への来訪者に船舶や対岸のガントリークレーンなど港そのものを間近に見てもらい、その魅力を知ってもらいたいと思っています。

——最近旅客を乗せたクルーズ船が増えたと聞きます。

近藤 名港には年間三〇〜四〇隻のクルーズ船が寄港しますが、

うち五隻ほどが外国船。最近は大船型が進み、名港トリトンを通過できない船もあり、今年は一〇隻程度が、金城ふ頭西側に停泊します。六月には約四〇〇〇人が乗船できるアジア最大級のクルーズ船が入ってきます。一四年二月に設立された名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議等を通じて、さらに誘致活動や観光案内などを積極的に進めていきたい。

——名港は日本一の物流拠点でもあります。

近藤 一五年の総取扱貨物量は一億九七〇〇万tで対前年比五%減、外贸コンテナ取扱個数は二四七万個で、同四%減でしたが、